

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		やまびこ茅ヶ崎駅前教室				
						公表日 2025年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースを区切るなどの工夫をし、活動に取り組んでおります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		利用児童の状態、支援内容によって配置を増やすなど、適正な人員配置となるよう努めています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		必要に応じて対応しています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	掃除手順カードを作り、誰でも掃除ができるようにしています。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて対応しています。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		朝、夕、ミーティングを行っています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表や保護者回答でのアンケートの結果より業務改善に努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に一度、職員会議を開き、意見を出し合う場を作っています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		今後検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修を行っています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		児童個人の状況に合わせプログラムを作成し、サービス提供記録等で公表しております。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		アセスメント、面談も定期的に行い、適切な計画作成に努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎日のミーティング、支援会議等において全職員で支援を検討しています。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画を共有し、支援を行っています。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		様々な方向から子どもの適応行動の状況把握に努めています。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	支援に必要かつ適した項目を設定するよう努めています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		プログラム立案は全員で行っています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		固定しないようにニーズに合わせてプログラムを組み立てています。		

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動と集団活動をニーズに合わせて設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝ミーティングをし、役割分担等を決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎タフィードバックを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		適切な記録を徹底しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		サービス担当者会議には主に児発官が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	情報共有会に参加するなど、関連機関との交流する機会を持つよう努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保育所や幼稚園と連携をとり、支援内容を共有しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	情報共有会に参加するなど、関連機関との交流する機会を持つよう努めています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	市支援員向けの相談窓口を積極的に活用していきたいと考えております。 必要に応じて児童発達支援センターと連携をとっております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		今後検討してまいります。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡ツールを使用して保護者様と連絡を取りながら支援を行っています。	
支援の実施	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に適切な説明を行っております。その後も隨時ご要望があれば説明を行う場を設けています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		いつでもご相談に対応できる体制を整えています。	
支援の実施	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様からご相談にはいつでも対応しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	年に一度程度、保護者会や茶話会を行っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		日ごろから送迎時に保護者様とお話しする機会を設け、保護者様が相談しやすい体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	6	1	会報は発行していませんが、イベントのお知らせ等は発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		十分注意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		十分な配慮を心掛けております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		今後検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的に訓練を行っております。また、マニュアルは保護者様が閲覧できるように教室入口に設置しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定し、訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		確認をしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	現在該当する児童はいませんが、アレルギーのある児童がいる場合には対応してまいります。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		支援が安全に行われるよう、安全管理に配慮し研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	サービス提供記録、送迎時の申し送り等でご家族への周知を心掛けています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット報告書を作成し、事例検討を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	虐待防止委員会を設置し、虐待防止の研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束マニュアルを策定し、職員間で共有しています。	